

春の八海山

記録：福沢卓三

期 間

平成26年5月4日（日）～6日（火）

参加メンバー

福澤卓三、河本善照

コースタイム

5月4日 JR板橋駅（11：45）－八海山スキー場（15：30）－ロープウェイ駅（16：00）－幕营地（17：00）

5月5日 幕营地（5：00）－女人堂（6：00）－千本檜小屋（8：30）－摩利支岳（12：30）－幕营地（15：30）

5月6日 幕营地（6：30）－八海山ロープウェイ駅（8：00）

5月4日

JR板橋駅で夜勤明けの河本と合流。ゴールデンウィークで関越高速道が渋滞するかと思っていたが、思ったほど渋滞する事もなく、八海山スキー場につき、16時のロープウェイの最終便に乗れてよかった。

上部のロープウェイ駅の少し上にある避難小屋をロープウェイの従業員が勧めてくれたが、こんなところで避難小屋に入るわけにはいかない。少しでも上に行こうと、ビバークサイトをさがしながら登り、ワンピッチ上に快適な場所があったので今日の幕营地にした。



平成26年の駒ヶ岳と中ノ岳



平成25年の駒ヶ岳と中ノ岳

5月5日

3時起床、5時に出発。全体に今年はかなり雪が少ない。しかしさすが豪雪地方である、ロープウェイ駅の上からは雪がびっしり。河本は予想外だったのか、「雪なんですねー。」横須賀山岳会が越後三山の厳冬期の第2登をしたんだよとあとで、教えてやろうと思った。昨夜はよく休めたせいか、快調に女人堂に到着。ここから薬師岳までの急な長い登りを登りきると八合目の薬師岳に到着した。ここから千本檜小屋に下る縦走路は、雪の付き具合で困難になるが、今年は右側の斜面の雪崩が、うまい具合に雪のブロックを残し、その間をくぐることができた。千本檜小屋についたが、時間が早いので、今日登るか明日にするか迷ったが、今日登ることにして、使用しないものをデポして登攀道具をつけて出発した。岩峰群の右側の下部を慎重にトラバスしながら取り付きにつき、最初からザイルをつけた。危ないところを安全に登るのが山岳会である。上から単独者が下りてきて、話を聞くとなんと郡界海尾根から縦走してきたとのこと。いまどきこんな人がいるのかとうれしくなった。春の郡界尾根は、新人の頃、たむしば（こぶし）の咲く藪の中を、木の上に登り枝のベットで昼寝しながら登ったいい思い出がある。



河本の雄姿



福澤の雄姿

河本はアンザイレンするのが初めてであるが、がんばって登ってくる。確保も教えながら、グリップピレイは横須賀山岳会が山と溪谷で発表したことも教えてやった。剣が峰の縦走路はけっこう悪く、ザレ場も鎖場も多く、12本爪のアイゼンで岩場のバランスに苦労しているようだ。縦走路を変更した箇所も何か所かあった。

登山者には、誰にもあわなくて二人だけである。コンテナスも教えたが、ほとんど確保しながらなので時間がかかり、帰路も同じ時間がかかりそうで、空模様もあやしくなったので、大日岳の手前でもどることにした。帰路の途中で雨が降ってきて、デポした装備を心配したが本格的な雨にならなくてよかった。

夜に強い雨から雪になった。テントは防水、湿気もなく快適であるがすこし狭く感じた。夜半に気温が低くなり寒かった。



平成 25 年春（昨年度の千本檜小屋と八海山）

5月6日

夜の雪が3cmほど積もった。トレースがかすかに残る程度である。

テントを撤収するころは、雨はやんでいたが、気温も低く寒い。朝の雪のいい状態に、またロープウェイの一番を目指して下山した。下るにつれて天気も回復し、ロープウェイの一番に乗ってきたと思われる登山者30人ほどとすれちがった。

上の駅でアイゼンをしまい、ロープウェイにのりホッとした。下の駐車場であたたかい春の陽光を浴びながら着替えをして装備をかわかした。

帰りの関越道も渋滞は思ったほどではなく車の運転も交代しながらしたので楽だった。

以上